

5月25 - 29 日週の豪ドル円レビュー

June 1, 2009

76.91 円まで年初来高値を更新

High : 76.91 円 Low : 73.10 円
 Close : 76.35 円

前週の豪ドルは対ドル・対円ともに堅調な展開に。北朝鮮による核実験再開・ミサイル発射報道でリスク資産に対する需要が後退したものの、同じくリスク回避の円売りが対ドルでの下押し分を相殺。その後は商品価格の上昇やリバランス絡みの豪ドル買いが入るとの見方から買い一辺倒の展開となった。

5/25 (月) 74.17 円

もみ合い。北朝鮮による核実験及びその後の短距離ミサイル発射報道を受けて、リスク回避の円売りが優勢となる局面が見られたものの、上昇は 74.50 円まで。基本的には 74.00 円を中心とする上下 50p ほどのレンジ内推移となった。

5/26 (火) 74.71 円

小幅上昇。原油価格が 60 ドルを下回る動きとなったこともあり、欧州時間までは上値の重い動き。しかし、NY 時間序盤に発表された消費者信頼感が予想を大幅に上回ると流れは一気にリスクテイクに。豪ドル円も引けにかけて 75 円付近まで上昇した。

5/27 (水) 73.95 円

小幅反落。米債券利回りの上昇からドル買いが進行。NY 時間を中心に豪ドルも対ドルで売り優勢の地合いとなった。このため、豪ドル円も引けにかけて 74 円割れを示現する場面が見られた。

5/28 (木) 75.94 円

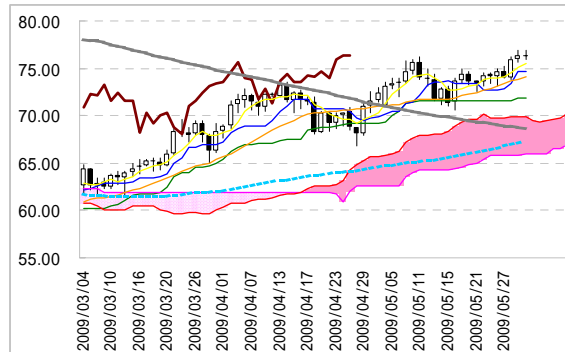
大幅上昇。NZ の格付け見直し引き上げを契機に円売りが進行。ドル円が次々に上方向のストップをこなし、上昇すると、豪ドル円も 76.26 円まで連れ高となり、年初来高値を更新した。

5/29 (金) 76.35 円

大幅上昇。月末のリバランスに絡む豪ドル買いが大量に入るとの見方から買い一辺倒の展開。豪ドル円は一時 76.91 円まで、豪ドル/ドルは 0.8016 ドルまで年初来高値を更新した。

月日	High	Low
5/25 (月)	74.50 円	73.46 円
5/26 (火)	74.92 円	73.10 円
5/27 (水)	75.20 円	73.93 円
5/28 (木)	76.26 円	73.81 円
5/29 (金)	76.91 円	75.67 円

豪ドル円の推移



テクニカル短期・中期ポイント

- 80.00 (心理的節目)
- 76.91 (5月29日高値 = 年初来高値)
- = = 先週末の NY クローズ 76.35 円 = =
- 71.89 (日足一目均衡表・基準線)
- 70.53 (5月18日安値)

豪州の重要指標結果

5/27 (水) [予想] (前回)

バッテリーノ豪準備銀行 (RBA) 副総裁、講演

インフレが脅威として再浮上した場合、世界の中央銀行は大規模な金融刺激策の一部を容易に方向転換できると指摘

アウトルック ダイジェスト版

レンジ : 71.56 - 80.00 円

今週は 2 日に RBA 政策金利が発表となるが、市場はすでに 3.00% での据え置きがコンセンサスとなっており、影響は限定的だろう。それよりも非常に相関性の高さが窺えた商品市場の動向に注目しておきたいところ。その点から鑑みると、市場で「現状の原油価格は需給関係によって導かれる価格とは乖離している」(本邦証券筋)との声も聞かれていることは、豪ドルにとってモリスク要因として意識されよう。もちろん短期的に豪ドルが上昇基調にあることは間違いないが、前述した商品市場の動向なども考慮すると、対ドルでの上値も限定的となる可能性も小さくない。